

令和2年度第2回地域包括ケア事例研究会

(多様化する移動手段とこれからの移動・外出支援サービス)

1 開催趣旨

団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向け、高齢者が重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が求められています。

移動支援に関しては、各自治体において、例えば総合事業における訪問型サービスBやD等、地域に適した形で独自の移動・外出支援サービスを提供しているかと思います。しかしながら、高齢者の移動ニーズや移動手段等は多様化してきており、サービスの提供において課題や苦慮していることが多くあるのではないかでしょうか。

そこで、関東信越厚生局では、市区町村職員及び生活支援コーディネーターの方々を対象として、移動・外出支援サービスの活用方法の再認識、他自治体の先進事例の紹介及び共有、そして活発な意見交換を通じて課題解決のヒントを得ることを目的として本事例研究会を開催いたします。

2 日時及び場所

- (1) 日時 令和3年3月11日（木） 13時30分～17時00分
- (2) 場所 オンライン開催（ZOOM）

3 参加対象

管内市区町村の職員及び生活支援コーディネーター

(40名程度、一市区町村につき端末2台までとし、各端末2名以下)

※可能な限り多くの市区町村に参加いただきたいため、申込みが多数となった場合には、2端末で申込みいただいた市区町村に1端末への変更をお願いする場合があります。

4 申込方法及び事前提出資料

- (1) 申込方法
メールにより令和3年2月19日（金）までに申込みをお願いします。（先着順）
- (2) 事前提出資料
参加が確定した方には、2月下旬頃に当日のグループワークで使用する事前アンケートをメールで送付いたしますので、ご提出のほどよろしくお願いいたします。

5 内容（予定）

- (1) 挨拶及び趣旨説明
- (2) 行政説明：国土交通省 関東運輸局 交通企画課 板垣友圭梨課長
- (3) 基調講演：NPO法人全国移動サービスネットワーク 河崎民子副理事長
- (4) 経済産業省 関東経済産業局 次世代産業課（予定）
- (5) グループワーク
- (6) 総括